

2025年度決算・経営説明資料

2026年9月4日



さあ、ユニークバンクへ。



北日本銀行

Unique Bank

1. 当行の概要	… 2
2. 2025年度決算概要・業績予想	… 5
3. 10年ビジョン・中期経営計画	… 13
4. 株式・資本政策情報	… 24
5. サステナビリティ	… 30
6. 各種計数	… 36

1. 当行の概要

プロフィール

名	称	株式会社 北日本銀行
設	立	1942年2月2日
本	社	岩手県盛岡市
預	金 残 高	1兆4,770億円
貸	出 金 残 高	1兆1,134億円
経	営 理 念	地域密着 健全経営 人間尊重
従	業 員 数	786人
格	付	A-（日本格付研究所）
グ	ループ会社	3社（リース、カード・信用保証、投資）

（残高は単体、2026年6月末現在）

店舗ネットワーク

- 岩手県..... 57店舗
（うち11店舗が店舗内店舗）
- 青森県..... 5店舗
（うち3店舗が店舗内店舗）
- 秋田県..... 2店舗
- 宮城県..... 10店舗
（うち1店舗が店舗内店舗）
- 福島県..... 2店舗
- 東京都..... 1店舗
- 合 計.....77店舗
（インターネット支店・イーダイレクト支店を含む）

実店舗数 60店舗

相談専門拠点 7拠点
（ローンプラザ・保険プラザ）



基礎データ

	データ	全国順位
面積	15,275m ²	2位
人口	1,125,502人	32位
農業産出額	3,269億円	10位
林業産出額	1,853億円	5位
海面漁業漁獲量	65千トン	10位
製造業売上高	32,051億円	32位

主な特産品

特産品	全国シェア	全国順位
生うるし	79.3%	1位
ホッポ	45.6%	1位
日本短角種(短角牛)	48.6%	1位
おきあみ類	54.2%	1位
あわび類	19.9%	1位
わさび	23.4%	2位

出所：岩手県勢要覧、農林水産省「令和6年農業産出額及び生産農業所得」、
「令和6年林業産出額」、「令和7年漁業・養殖業生産統計」、
経済産業省「令和6年経済構造実態調査」

ものづくり産業を牽引する主な企業



出所：岩手県企業立地ガイド

2. 2025年度決算概要・業績予想

(単位：億円) 億円未満は切り捨て			
	25年度実績	増減	24年度実績
経常収益	269	39	230
業務粗利益	190	20	170
資金利益	194	20	174
うち貸出金利息	157	25	132
うち有価証券利息配当金	60	13	47
うち預金利息（△）	29	20	9
役務取引等利益	0	0	△0
その他業務利益	△ 3	0	△ 3
うち国債等債券損益	△ 4	△ 1	△ 3
経費（除く臨時処理分）（△）	132	5	127
実質業務純益 ※1	57	14	43
コア業務純益 ※2	61	14	47
一般貸倒引当金繰入額（△）	△ 2	△ 2	—
業務純益	60	17	43
臨時損益	0	△ 9	9
うち株式等関係損益	8	2	6
経常利益	60	7	53
特別損益	△ 1	1	△ 2
税引前当期純利益	59	9	50
法人税等（△）	17	5	12
当期純利益	42	4	38
実質与信費用（△）	8	6	2

※1 実質業務純益＝業務粗利益－経費 ※2 コア業務純益＝実質業務純益－国債等債券損益

➤ 貸出金利息及び有価証券利息配当金の増加などにより、増収増益決算。

経常収益

貸出金利息や有価証券利息配当金が増加したことなどから、前期比3,856百万円増加

業務粗利益

資金利益が増加したことなどから、前期比2,021百万円増加

実質業務純益

業務粗利益の増加などから、前期比1,468百万円増加

経常利益

実質与信費用が増加したものの、実質業務純益及び株式等関係損益の増加などにより、前期比798百万円増加

当期純利益

前期比393百万円増加

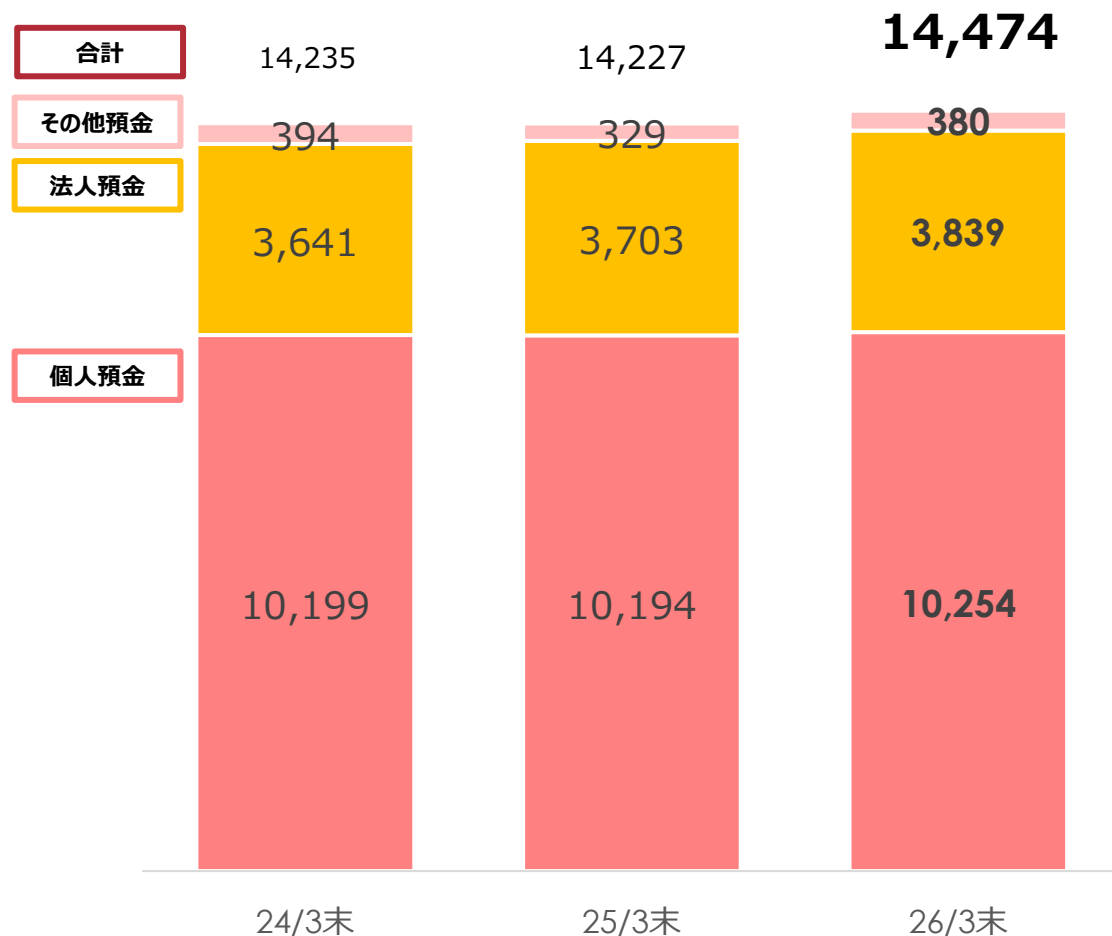
2025年度決算概要（預金・貸出金の状況）

- 預金等残高は全部門が増加したことにより、前期末比247億円増加し1兆4,474億円。
- 貸出金残高は事業性貸出、個人ローンが増加したことにより前期末比140億円増加し1兆1,234億円。

預金等残高の推移

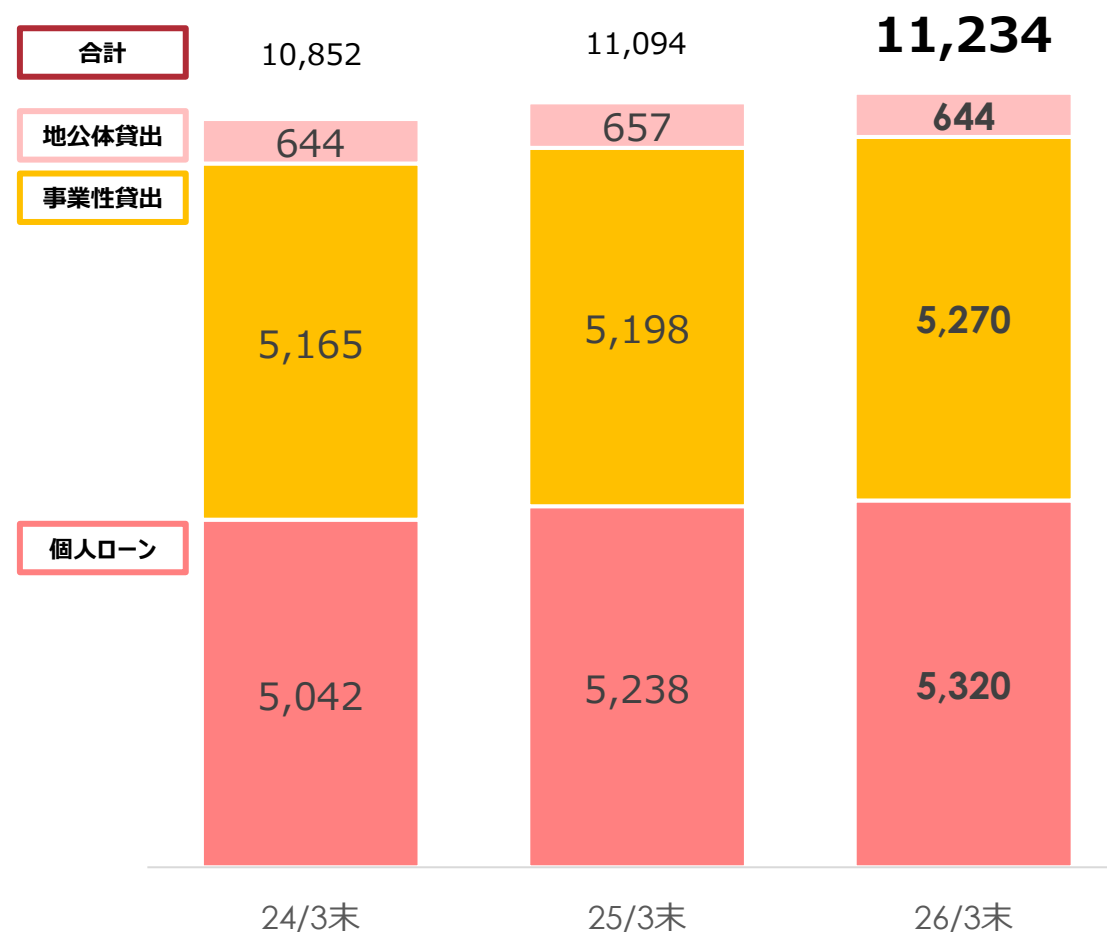
（単位：億円）

譲渡性預金含む



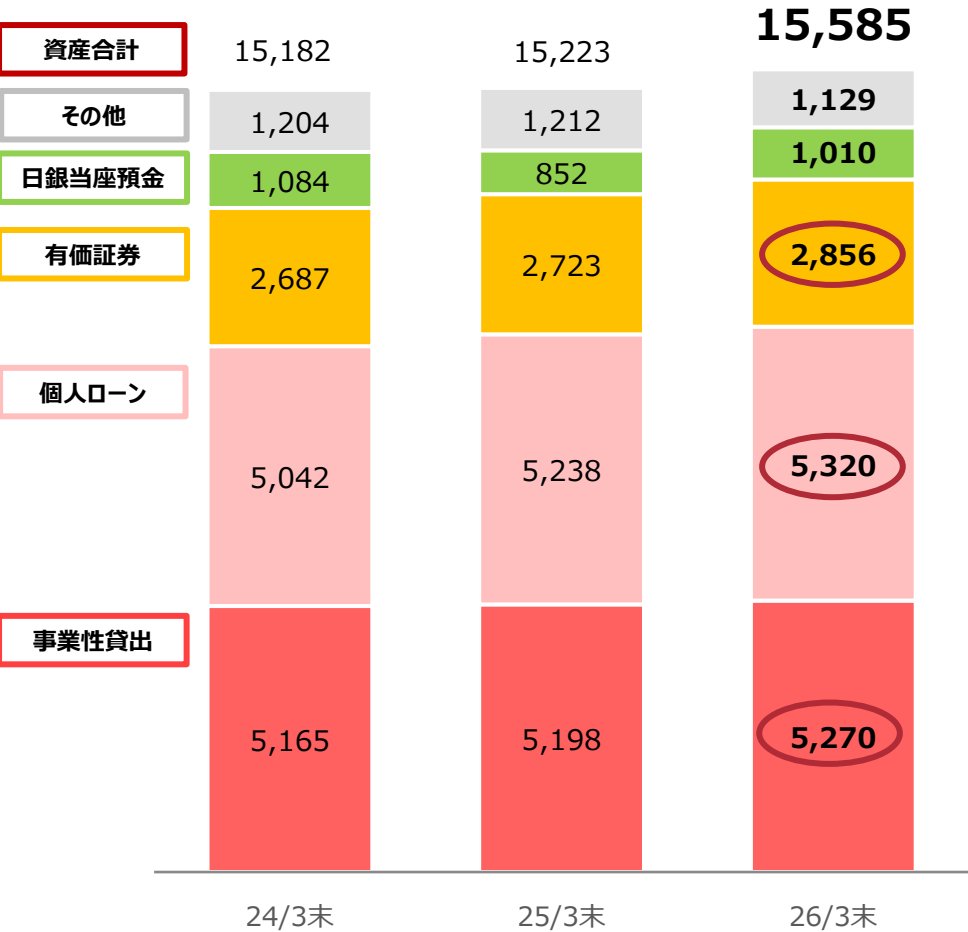
貸出金残高の推移

（単位：億円）

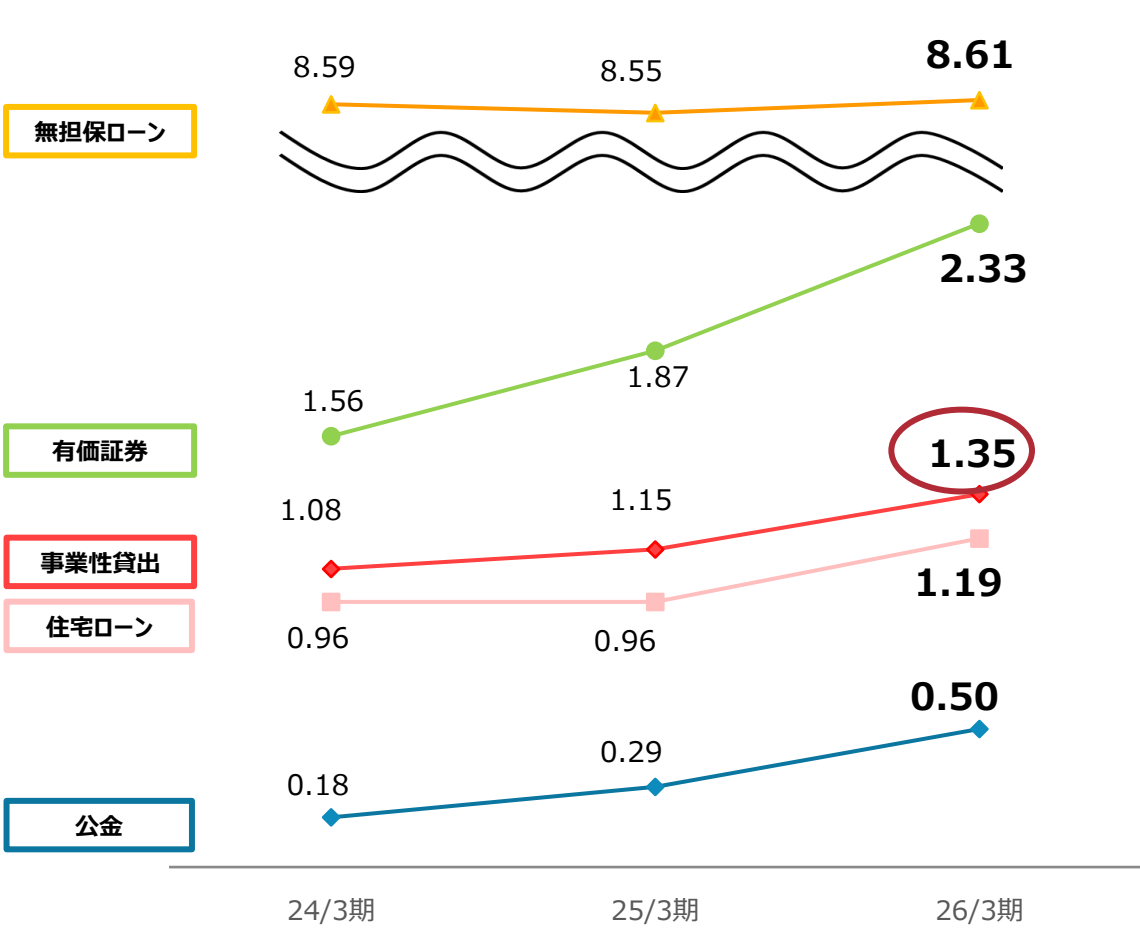


- 運用資産のポートフォリオは個人ローン、事業性融資が順調に推移し、国債の購入等により有価証券残高は増加した。
- 事業性貸出利回は日銀の政策金利上昇のため前期比0.20%上昇の1.35%となった。

運用資産のポートフォリオの推移（単位：億円）

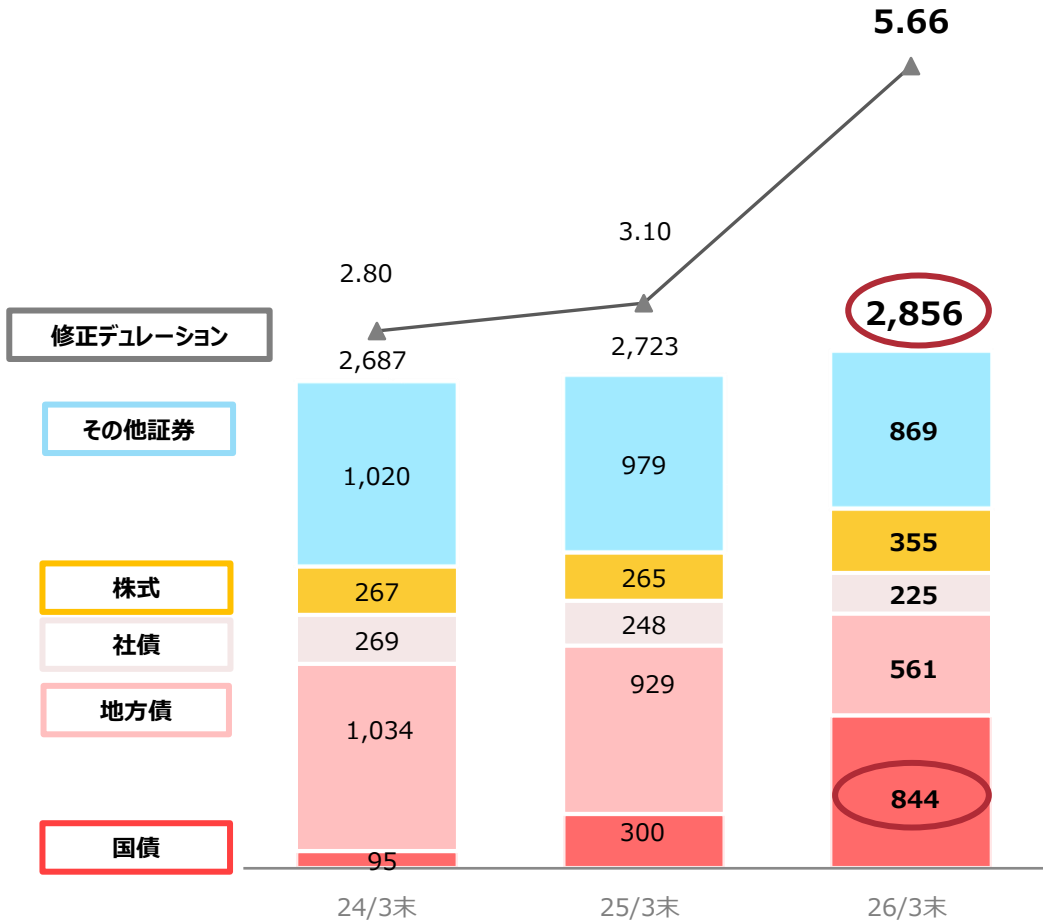


運用資産ポートフォリオの利回推移（単位：%）

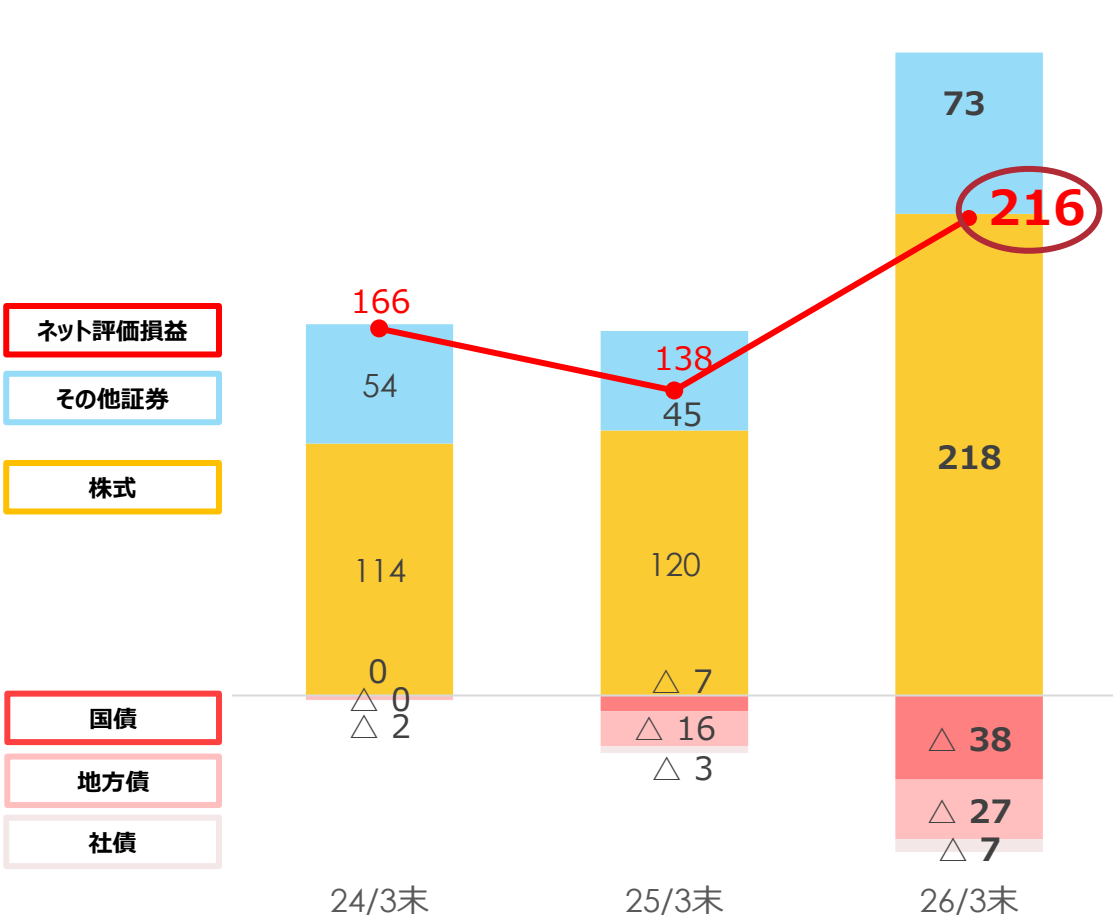


- 有価証券残高は国債の増加などにより、前期末比133億円増加の2,856億円となった。
- 有価証券評価損益は株価の上昇などにより、前期末比78億円増加し216億円の評価益となった。

有価証券残高の推移（単位：億円）



有価証券評価損益の推移（単位：億円）

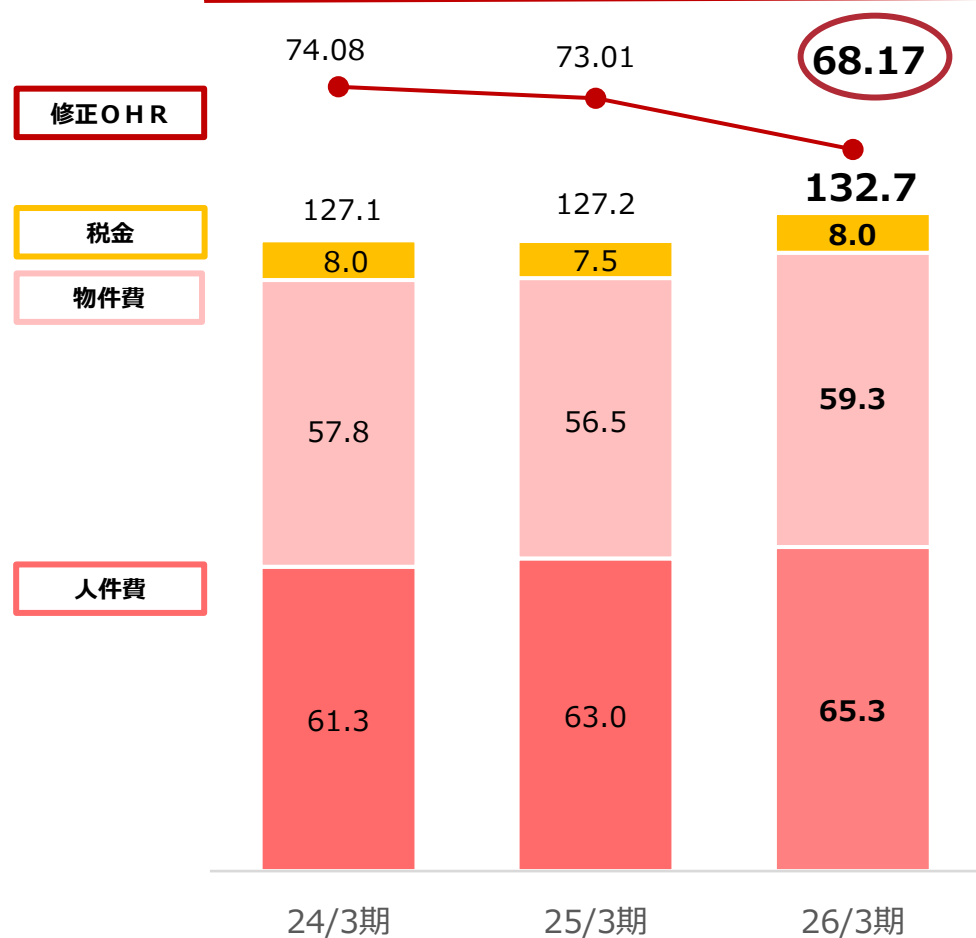


2025年度決算概要（経費・自己資本比率の状況）

- 修正OHRは業務粗利益（除く国債等債券損益）の増加等により、前期比4.84%改善し68.17%。
- 自己資本比率は個人ローン残高増加等に伴うリスク・アセット等増加のため前期末比0.18%低下し9.57%。

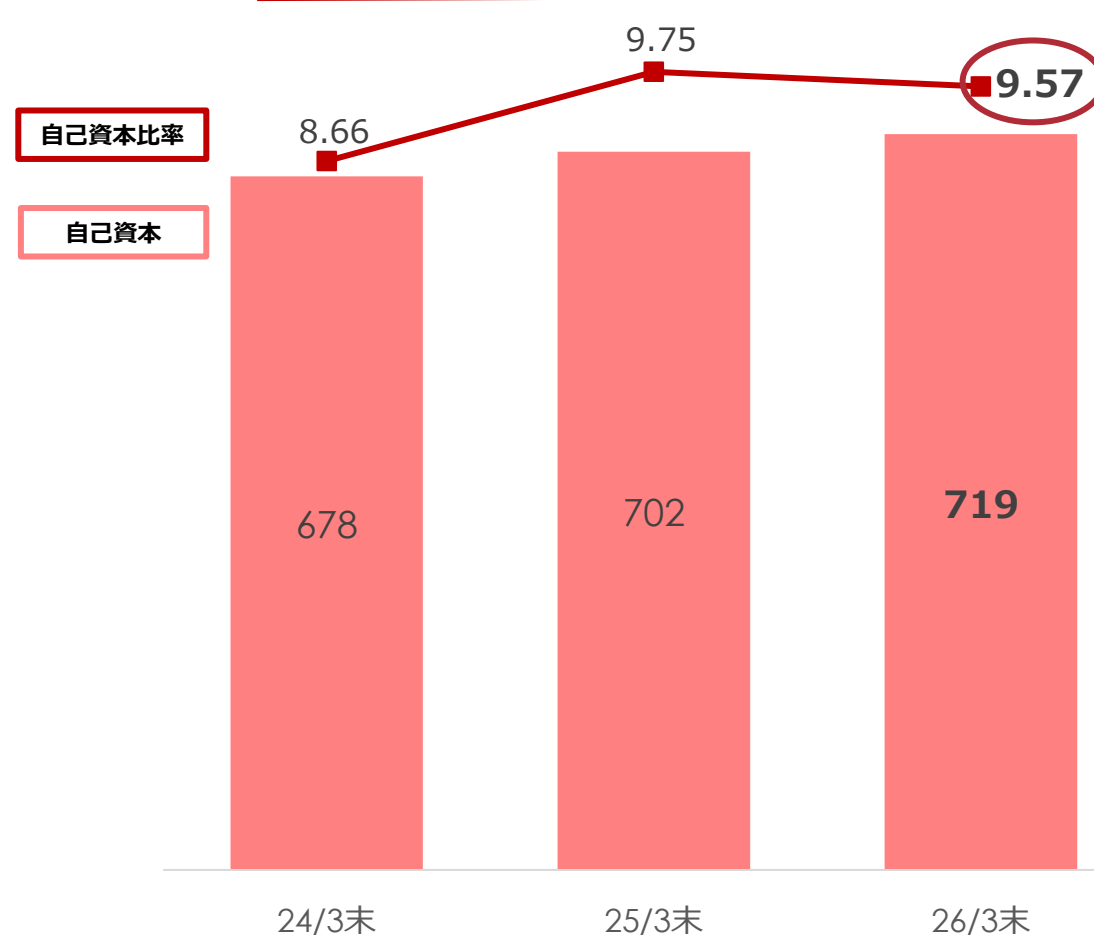
経費・OHRの推移

（単位：億円、%）



自己資本比率の推移

（単位：億円、%）

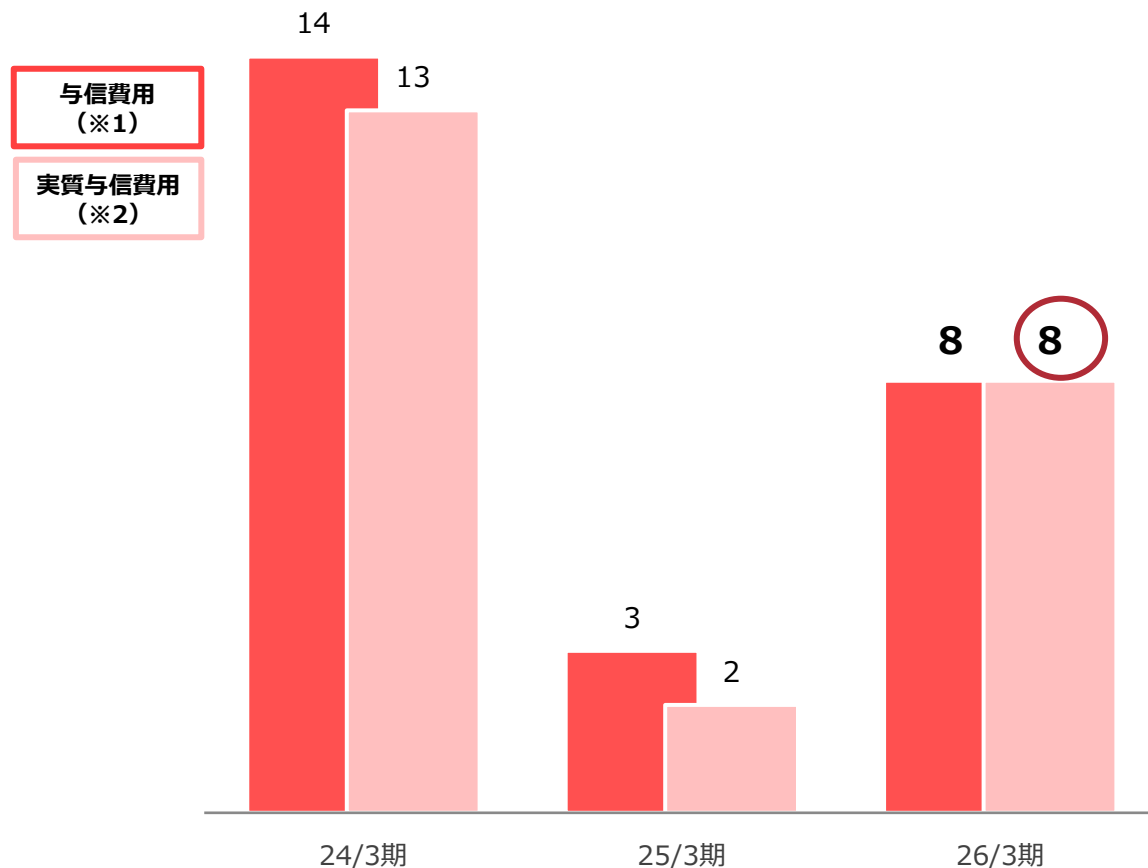


※25/3末より新たな自己資本比率規制（バーゼルⅢ最終化）を適用しております。

- 実質与信費用は個別貸倒引当金が増加したことなどから、前期比6億円増加し8億円となった。
- 不良債権残高は前期末比15億円増加し179億円、不良債権比率は前期比0.12%上昇し1.58%となった。

与信費用の推移

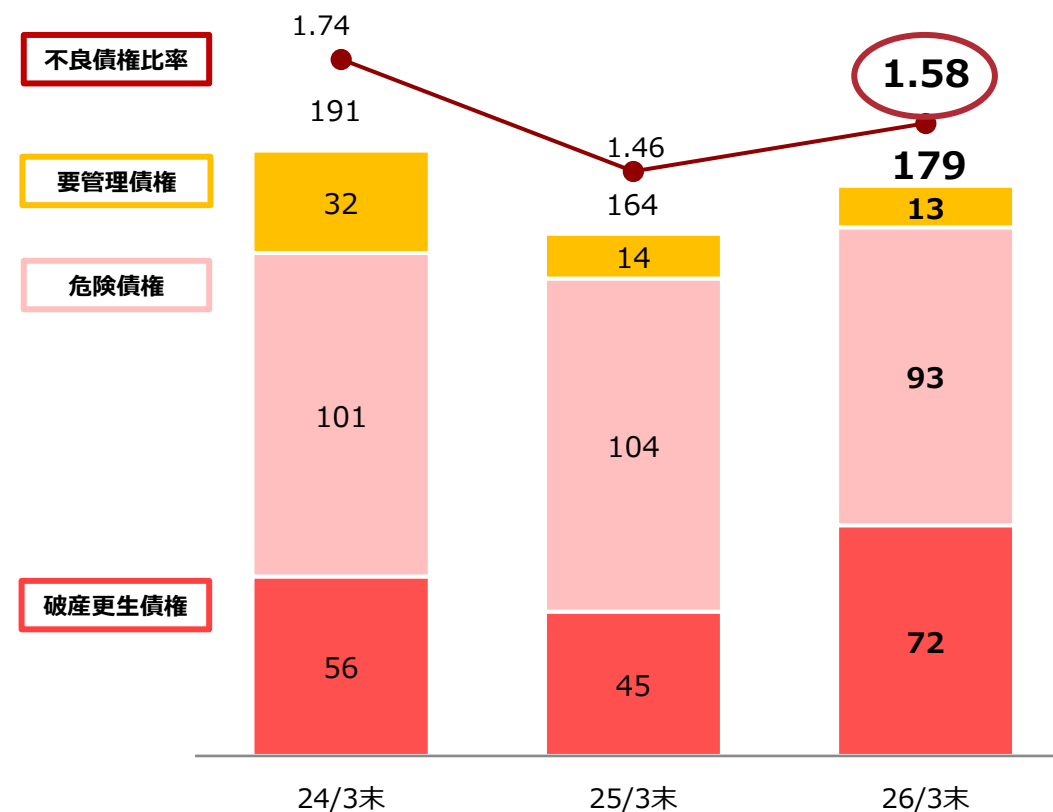
（単位：億円）



※1 与信費用 = 不良債権処理額 + 一般貸倒引当金繰入額 - 貸倒引当金戻入額
 ※2 実質与信費用 = 与信費用 - 償却債権取立益

不良債権残高の推移

（単位：億円、%）



(単位：億円)

	26年度予想		25年度実績
		増減	
コア業務粗利益	205	11	194
うち資金利益	205	11	194
うち貸出金利息	190	33	157
うち有価証券利息配当金	60	0	60
うち預金利息（△）	52	23	29
うち役務取引等利益	0	0	0
経費（除く臨時処理分）（△）	139	7	132
うち人件費（△）	68	3	65
うち物件費（△）	63	4	59
コア業務純益	66	5	61
有価証券関係損益	1	△ 3	4
実質与信費用（△）	4	△ 4	8
その他臨時損益	1	△ 2	3
経常利益	64	4	60
特別損益	△ 1	0	△ 1
税引前当期純利益	63	4	59
法人税等（△）	19	2	17
当期純利益	44	2	42
（連結）			
親会社株主に帰属する当期純利益	45	2	43

コア業務粗利益

貸出金利息は前期比33億円増加の**190億円**、
預金利息は前期比23億円増加の**52億円**を
見込み、前期比11億円増加の**205億円**を予想

経常利益

経費増加などを見込むものの、資金利益などの
増加により、前期比4億円増加の**64億円**を予想

当期純利益

前期比2億円増加の**44億円**を予想

政策金利の見通し

2026年7月に0.25%引き上げられ、1.00%まで
上昇する想定。なお、6月に実施された政策金利
の引き上げによる影響は軽微であり、業績予想に
変更はございません。

※業績予想につきましては、本資料の発表日現在において入手可能な情報を前提とした判断及び予測に
基づき算出した見通しであり、今後、経営環境の変化等により、業績予想が変更となる可能性があります。

3. 10年ビジョン・中期経営計画

■ 「豊かな人間力と創造的開発力で、 未来をデザインする“ユニークバンク”」

“豊かな人間力”とは、柔軟な発想力を持ち、親身になって考動できるチカラ。

“創造的開発力”とは、ICTの創造的な利活用によって、仕事やサービスの仕組みを開発するチカラ。

“未来をデザインする”とは、この10年で激変するだろう経済、社会、暮らしで、私たちの、地域の、未来を共創すること。

他とは差別化された優位性を持たないと生き残れない、
他にはない「Unique」な、おもしろい、わくわくする、
そんな“ユニークバンク”を私たちは目指します！



経営理念（地域密着・健全経営・人間尊重）

■ コーポレートスローガンの制定（2024年11月策定）

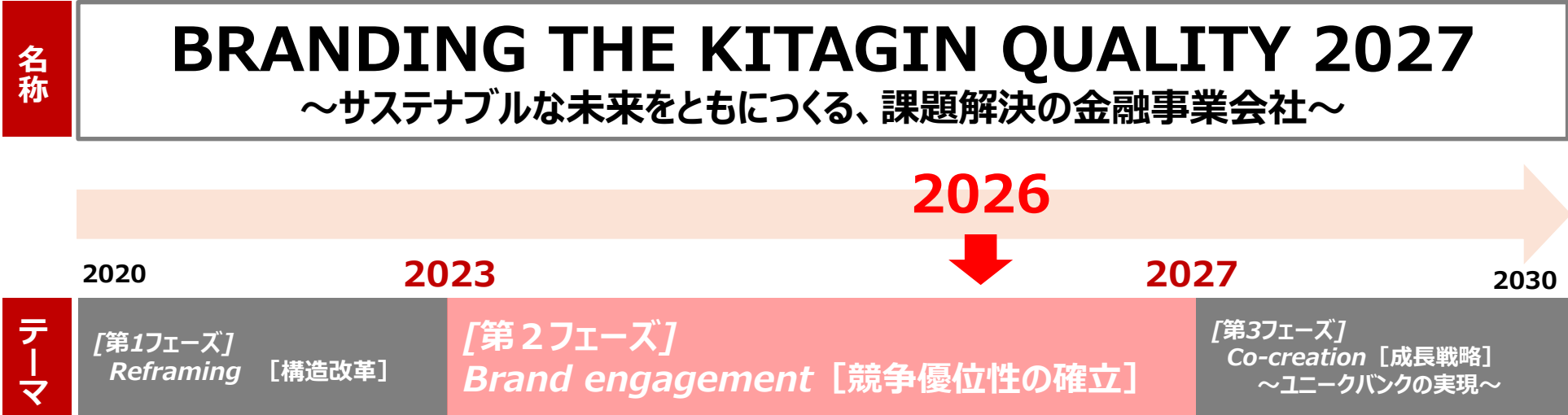
「コーポレートスローガン」

さあ、ユニークバンクへ。

コーポレートスローガンに込めた想い、
ブランドムービー等はコチラからご覧
いただけます



中期経営計画（2023/4～2027/3）2020年からスタートした10年ビジョン達成のための[第2フェーズ]



基本方針	Change ～変革～	1. 金融仲介機能における収益構造の変革
	Create ～創造～	2. 規制緩和による革新的事業の創造
	Optimum ～最適化～	3. 最適な資源配分
	Improvement ～改善～	4. 戦略的な組織・業務構造の見直し
	Sustainability ～持続性～	5. サステナビリティ経営とガバナンスの高度化

BRANDING THE KITAGIN QUALITY 2027

～サステナブルな未来をともにつくる、課題解決の金融事業会社～

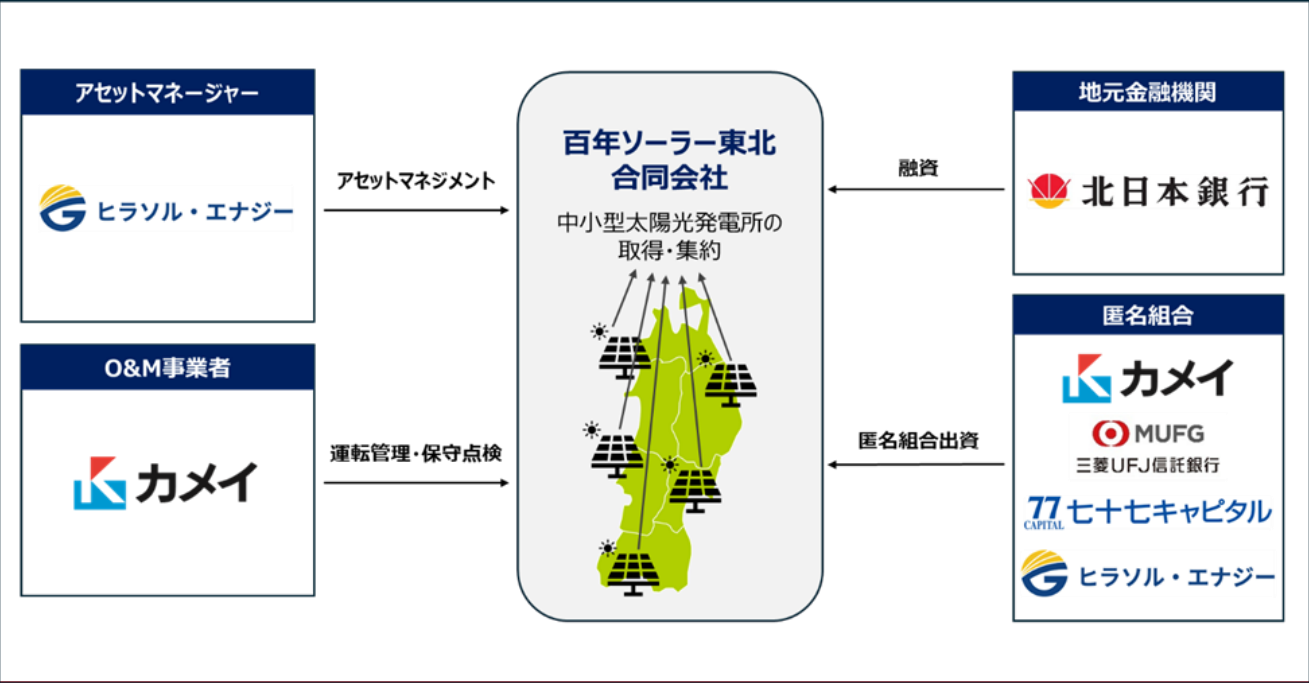
I. 事業戦略	法人営業	- 顧客起点の付加価値の高いコンサルティングとソリューション提供 - 行動量の増加、重点領域・メイン取引推進		
	リテール営業	- ライフサポートコンサル（相続、資産形成等） - 住宅ローン専門相談拠点の体制強化 - 非対面チャネルの更なる充実		
	店舗戦略	- 法個一体型営業拠点・体制 - オーダーメイド・ワンストップ相談		
	市場運用	市場運用の高度化と安定収益の確保		
	新事業	規制緩和・新事業の研究・事業化	DX・CX戦略	
II. DX戦略	業務効率化	ペーパーレス	データ利活用ビジネス	
			店舗業務のスリム化	
III. 人財戦略	人財育成	キャリア・ジョブローテーション	戦略的出向	専門人財育成
		エンゲージメントの向上		
IV. SX戦略	脱炭素	CO2排出量削減		
	地域社会	地域貢献	スポーツ振興	金融教育
	ガバナンス	リスク管理	資本政策	

百年ソーラー東北事業に対するプロジェクトファイナンスの組成

【百年ソーラー東北事業について】

東北エリアの中小型太陽光発電所を取得・集約し、ヒラソル・エナジーの強みである「リパワリング技術」と「デジタル技術」を活用した長期安定運営を目的として「百年ソーラー東北」を新設し、カメイ、三菱UFJ信託銀行、七十七キャピタル、ヒラソル・エナジーの4社がそれぞれ匿名組合契約を締結。地元金融機関である当行がプロジェクトファイナンスを組成し、FIT期間終了後も見据えた長期安定運営を支える金融基盤を整備することで、地域金融と一体となった東北エリアの**社会課題解決プロジェクト**として推進していく。

プロジェクトファイナンス概要	
組成金額	約17億円
資金使途	太陽光発電設備の取得・再生・売電、それに付随関連する事業



いわてのごちそうキャンペーン

- ▶ キャンペーン期間：2025年11月21日～2026年6月30日
- ▶ 東日本大震災から15年が経過し、岩手の魅力をさらにPRするために本キャンペーンを実施。
- ▶ 預入金額に応じて、年**1**回（最大**3**年間）岩手県の特産品をプレゼント。
- ▶ 他行からの預け替えや現金等による作成が条件。
- ▶ 多くの預け入れを頂き好評の状況。



商品概要

特典
1

金利上乘せ！店頭表示金利+年**0.10%**

特典
2

岩手県の特産品を年**1**回プレゼント！（最大**3**年間）



※写真はイメージです。※岩手県産株式会社にて厳選した特産品をお送りいたします。

特典進呈スケジュール

(例) 2025年12月に2,000万円お預入れの場合

2025年	2026年	2027年	2028年	2029年
12月 お預入れ	1回目 12月 特産品30,000円相当 + おこめ券40枚発送 プレゼント判定	2回目 12月 特産品30,000円相当 + おこめ券40枚発送 プレゼント判定	3回目 12月 特産品30,000円相当 + おこめ券40枚発送 プレゼント判定	お楽しみ 12月 特産品30,000円相当 + おこめ券40枚発送 プレゼント判定
	店頭表示金利 + 年 0.10%			満期 初回満期後は、 店頭表示金利にて 自動継続となります
	〈店頭表示金利が年0.325%の場合〉 税引前利息：2,000万円×年0.425%×3年＝255,000円 税引後利息：255,000円－（国税39,053円＋地方税12,750円）＝203,197円（※利息額は概算です。）			

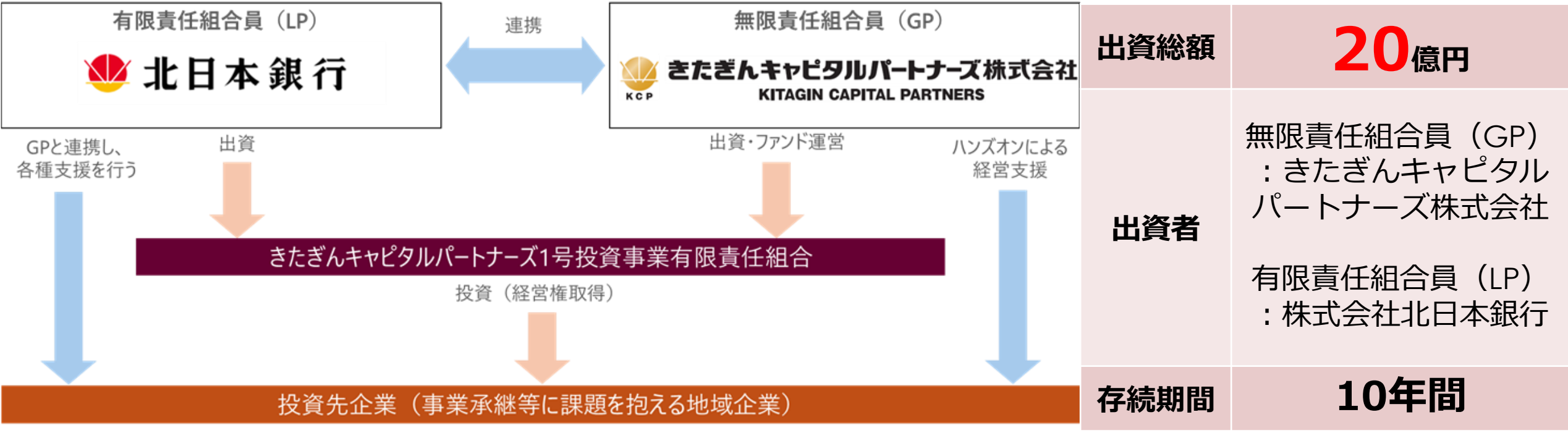
きたぎんキャピタルパートナーズ1号投資事業有限責任組合の設立

設立日

2026年1月7日

設立目的

本ファンドは、地域企業の事業承継ニーズに対し、既存の事業承継・M&Aアドバイザリー機能を補完する、より踏み込んだソリューションとして、経営権取得を伴う投資とハンズオン支援により、事業承継等の課題解決と企業価値の最大化を目的とします。
当行グループでは、持続的な成長、地元の雇用やサプライチェーンの維持・拡大、技術・ノウハウ等の承継に取り組む地域企業の挑戦に、確かな安心を提供することで、もっと豊かでおもしろい故郷“いわて東北”の実現に貢献してまいります。

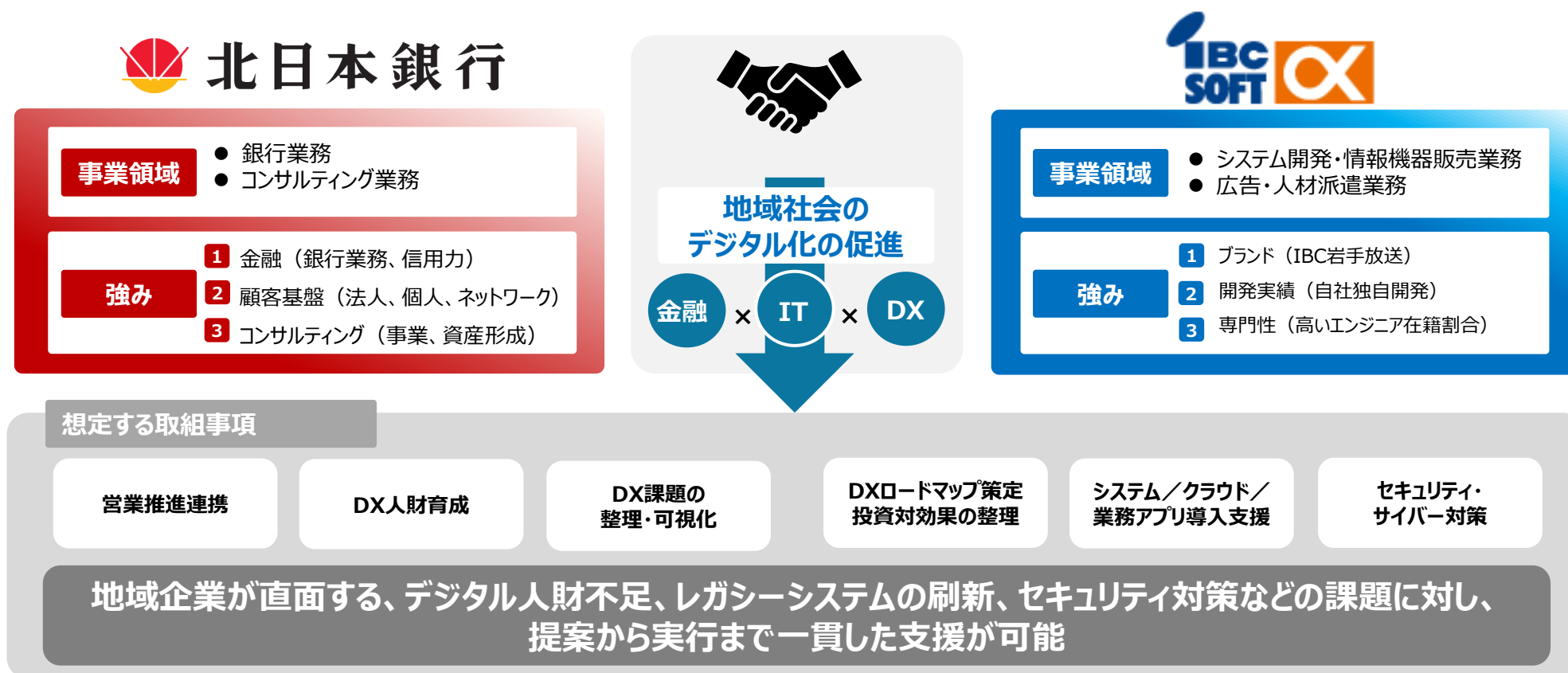


他業銀行業高度化等会社（※）の認可取得による資本業務提携

【目的】

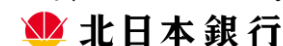
（※）銀行法第16条の2第1項第15号に規定されたIT技術等を活用した、銀行業の高度化、利用者の利便性向上、地域の活性化、その他持続可能な社会構築に資する業務を行うための会社

「豊かな人間力と創造的開発力で、未来をデザインする“ユニークバンク”」を10年ビジョンに掲げる**当行**と、「社会や企業の抱える課題を『IT技術』と『ソリューション』で解決するプロ集団を目指す！」をミッションに掲げ、地域のデジタル化支援に取り組む**株式会社IBCソフトアルファ**（岩手県盛岡市）が相互に連携し、金融、IT・DX等を活用したコンサルティング機能の向上を通じて、生産性向上や新たな付加価値の創出を図ること。



AI活用・事業変革プロジェクトの開始

さあ、ユニークバンクへ。



龍澤学館グループ

2024年10月に学校法人龍澤学館と「包括連携協定」を締結し、**持続可能な「人づくり」のプラットフォーム構築**と地域への還元を目指し、実証実験を実施。

人生100年時代を活躍するための学びの機会を創り出す「人づくり」のプラットフォームを構築する
～人生に新たなわくわくを～

実証実験 第1弾

「生成AIを活用する社内インストラクター養成プログラム」

〈目的〉

生成AIの活用スキルを持つ社内インストラクターを育成し、業務現場でのAI活用を促進することで、組織全体のデジタルリテラシー向上と業務効率化を図る。

〈内容〉

AIの可能性を知り、業務の効率化と時間創出により、価値ある対応を目指す。

〈プログラムおよび参加者〉

全4回のプログラムで当行行員10名を対象に、「社内インストラクター育成事業」として龍澤学館グループの教員によりAI活用指導を受けた当行行員2名による講義を実施。

実証実験 第2弾

「産学連携による高度DX人財の育成と 伴走型AIコンサルティングの事業化」

〈目的〉

当行の「経営・実務的知見」と、龍澤学館の「IT専門性・教育スキル」を融合させ、AIを活用して人材不足に直面する中小企業の業務課題の解決を目指す。

〈内容〉

高度DX人財の育成及びビジネスモデルの構築。
当行より選抜された若手行員を対象に龍澤学館の専門講師による短期集中型のDX・AI研究プログラムの実施。
既存業務から離れ先端技術を学びながら、実際の業務を題材に持続的に運営していくための整理・共有を目的とした検討・実証の実施。

今後も**AIの活用可能性の研究**や地域の中小企業に向けた新たな価値を創造できる
DX人財の育成を目指して、今後のアクションを検討していく。

事業戦略KPI

サステナブルファイナンス実行額

26/3目標	26/3実績	中計実績	27/3目標 中計最終年度
250億円	376億円	1,119億円	累計1,000億円

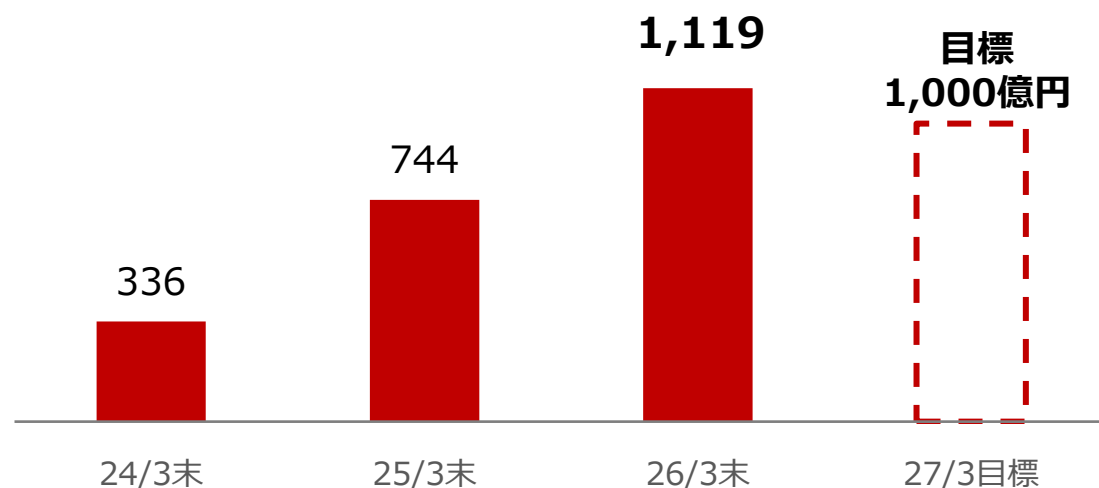
➤ 中計目標に対し、1年前倒しで達成。

法人役務収益

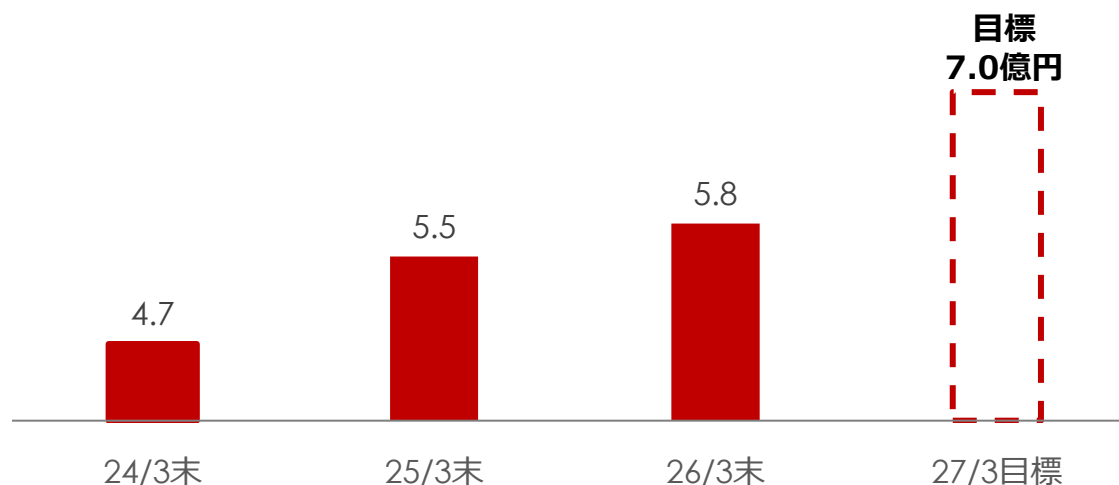
26/3目標	26/3実績	達成率	27/3目標 中計最終年度
6.5億円	5.8億円	89.1%	7億円/年

➤ 前期比ベースでは0.3億円増加したものの、目標未達となった。

サステナブルファイナンス実行額推移（単位：億円）



法人役務収益額推移（単位：億円）



住宅ローン実行額

26/3目標	26/3実績	中計実績	27/3目標 中計最終年度
500億円	380億円	1,430億円	累計2,000億円

- 運用資産の適切な配分の観点から政策的に抑制したため、目標未達となった。

個人ローン残高推移（単位：億円）



ライフプランシミュレーション活用件数

26/3目標	26/3実績	27/3目標 中計最終年度
5,000件/年	4,303件/年	5,000件/年

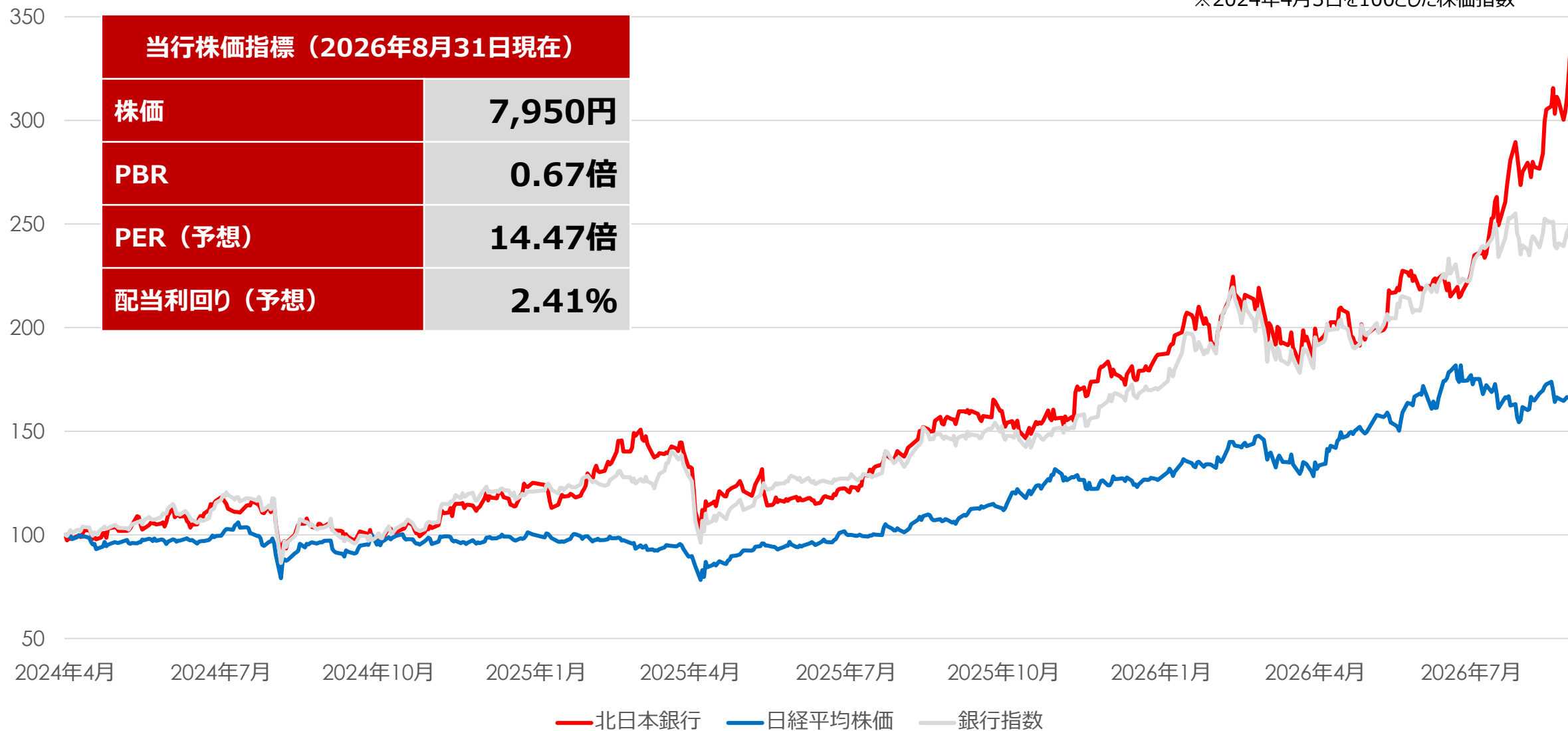
お客さまのニーズに沿った金融商品・サービスの販売・推奨等を行うため、ライフプランニングを起点とした**ゴールベースアプローチ**による資産運用の提案を行っている。ライフプランシミュレーションを用い、お客さまのご意向の確認に取り組む。

お客さまにご提示したライフプランシミュレーション件数：**4,603件**
内、**資産形成**や**ローン**のご提案に繋がった件数：**4,303件**

4. 株式・資本政策情報

株価推移・株価指標

※2024年4月3日を100とした株価指数



株主還元方針（2025年9月25日新たに策定）

地域金融機関として、自己資本の充実による持続可能な経営基盤確保を基本としつつ、親会社株主に帰属する当期純利益に対する配当性向**35%**を目安とするとともに、機動的な自己株式の取得により、株主利益と資本収益性の向上を図ってまいります。さらに、**2030年3月期**までに配当性向**40%**を目指すものといたします。

配当政策

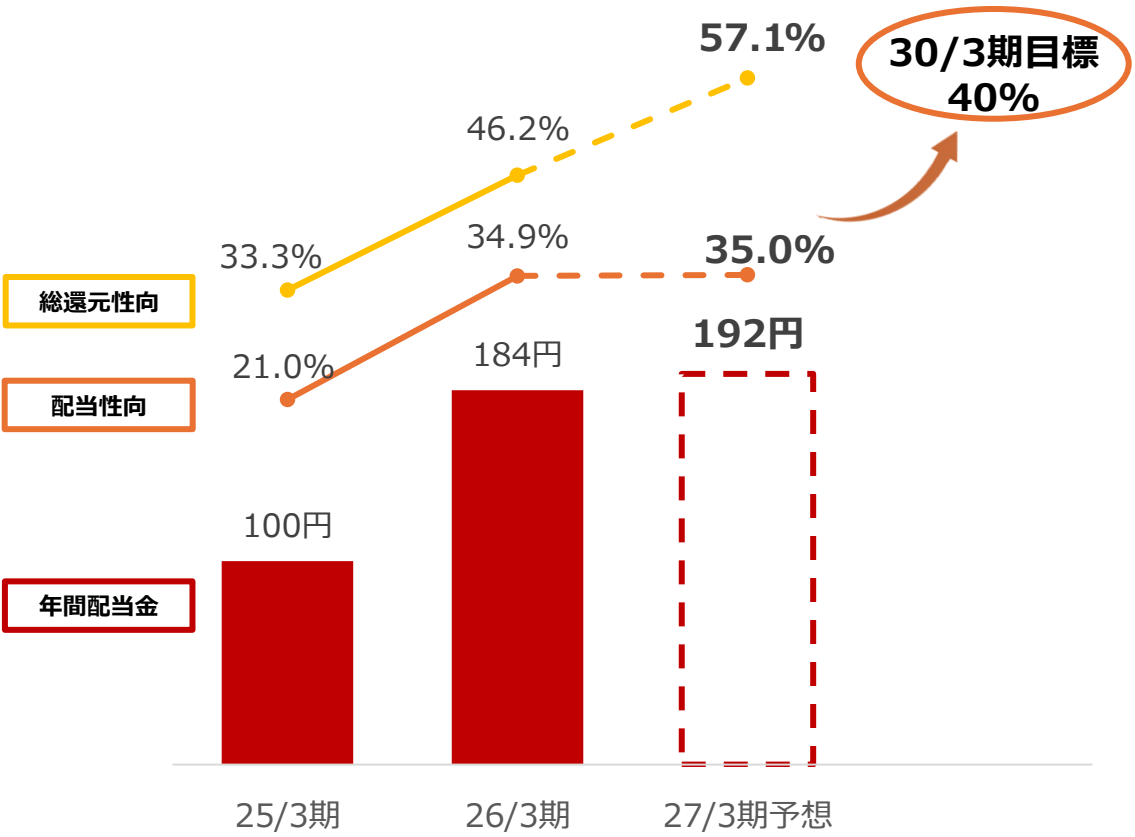
	25/3期	26/3期	27/3期予想
1株あたり 年間配当金（円）	100	184	— (192)（※2）
配当金総額 （百万円）	836	1,517	1,545
自己株式取得額 （百万円）	500	500	1,000
配当性向	21.0%	34.9%	34.3%
総還元性向 ^{（※1）}	33.3%	46.2%	56.5%

（※1）総還元性向＝（配当金総額＋自己株式取得額）／親会社株主に帰属する当期純利益
（※2）年間の配当予想については、株式分割の実施により単純計算が不可能の為非表示

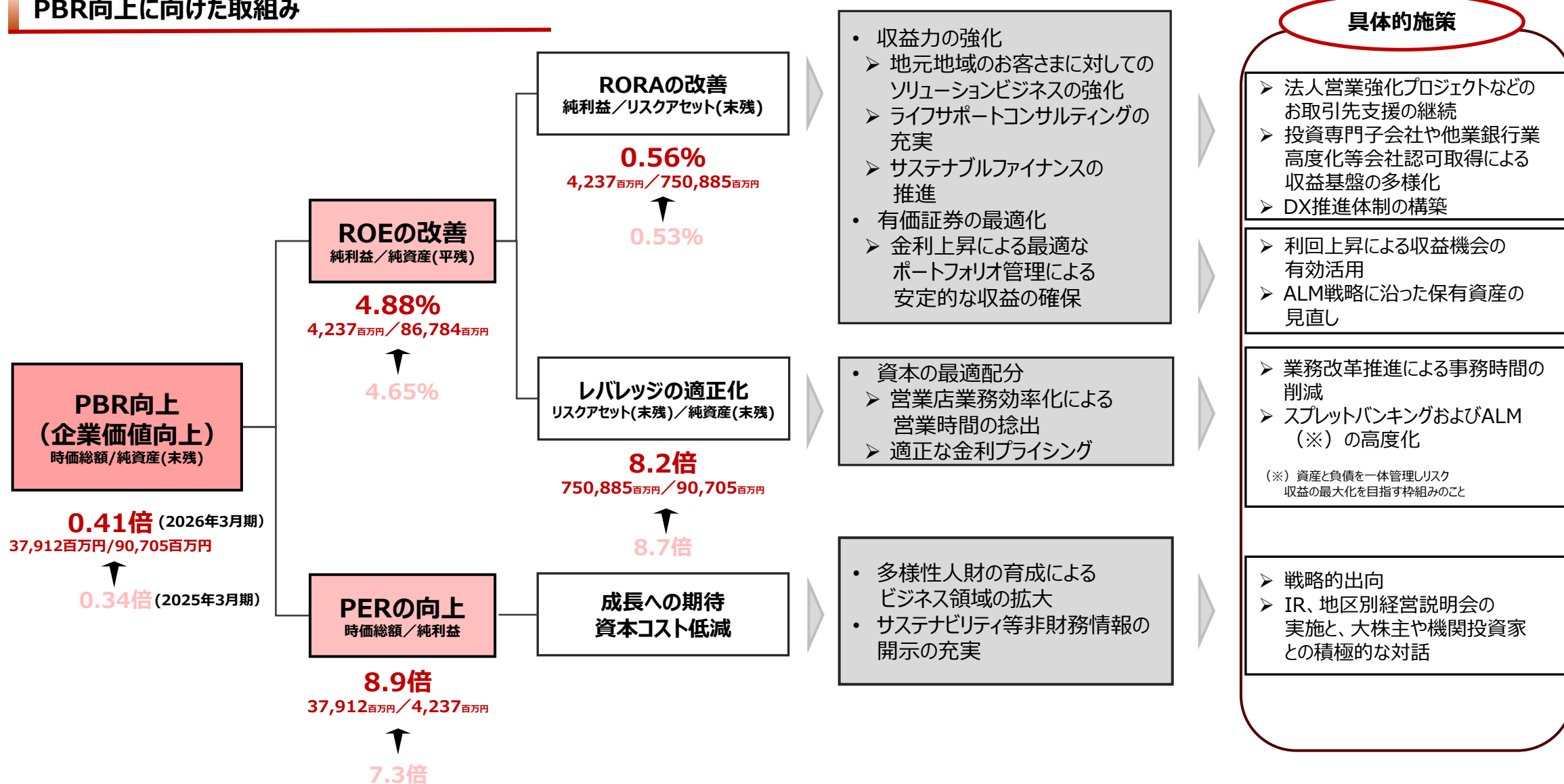
「参考」

株主数	11,880名	12,669名	—
-----	---------	---------	---

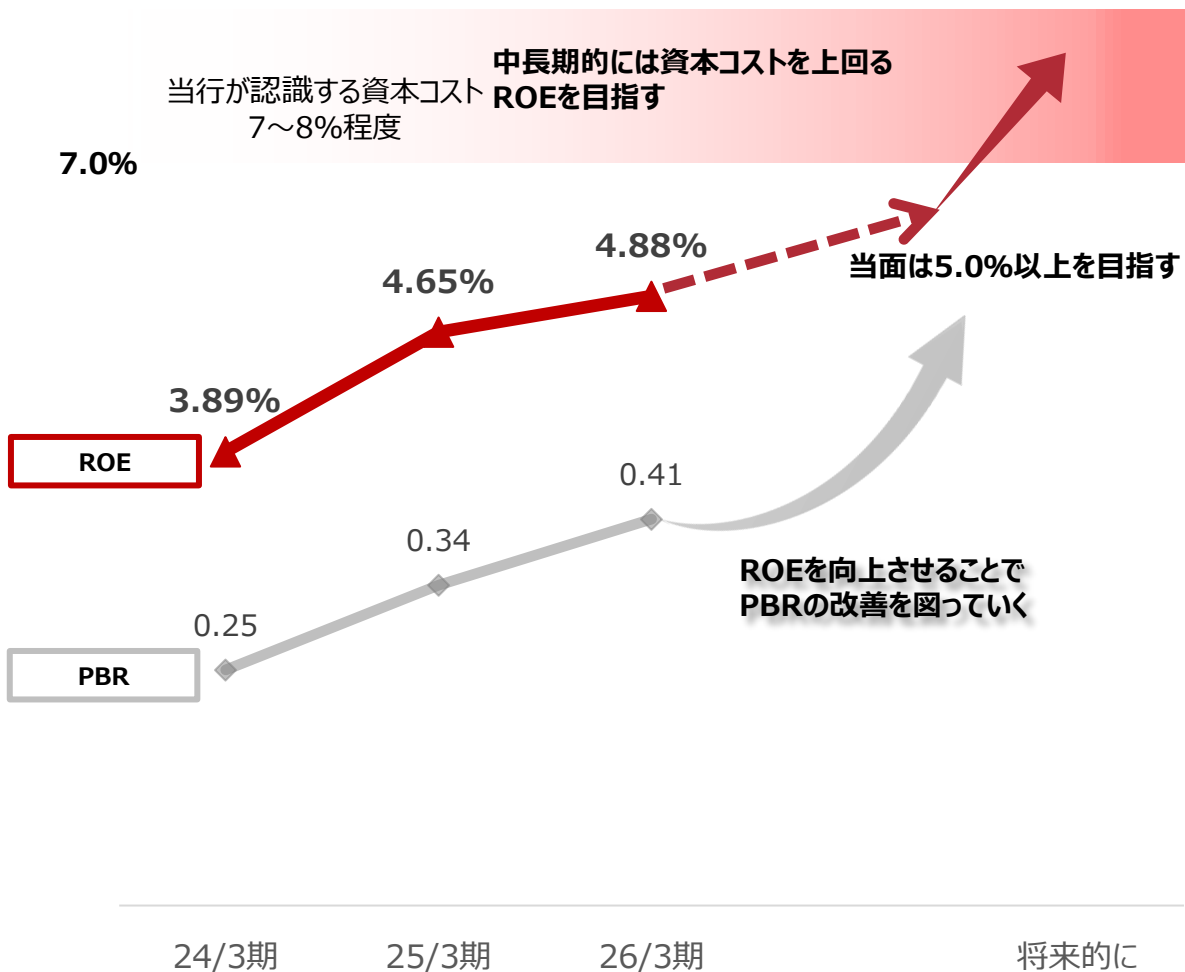
配当金ほか配当指標の推移（単位：円、％）



PBR向上に向けた取組み

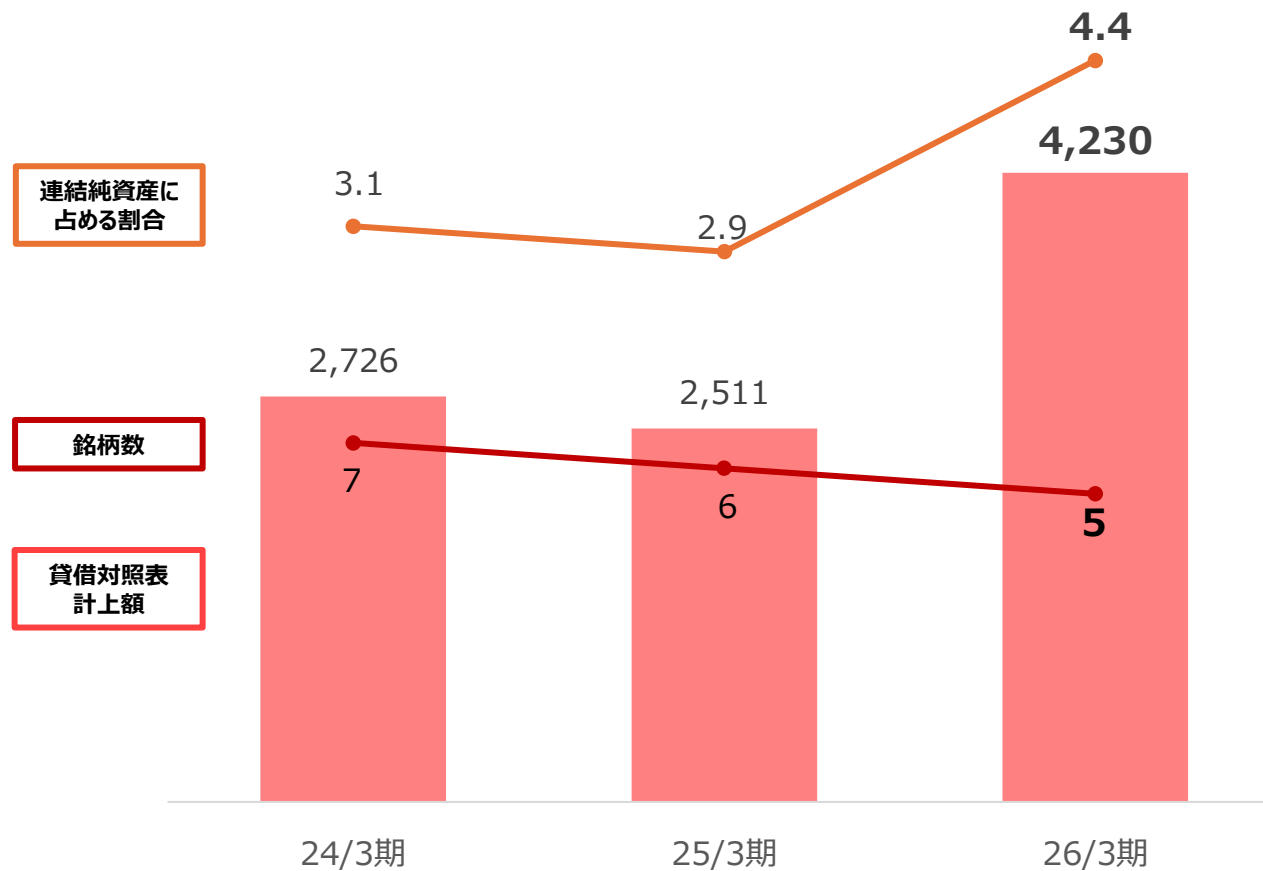


中長期的に目指すROEの水準 (単位：％、倍)



政策保有株式の状況 (単位：百万円、数、％)

- 資本効率を重視し、政策保有株式の保有は必要最小限としている。
- 連結純資産に占める割合は4％台と低水準となっている。



株主優待制度

北日本銀行 選べる株主優待制度のご案内

地元特産品プレゼント!

北日本銀行は株主優待制度で、東日本大震災の復興に貢献します。

GIFT CATALOG

「いわての学び希望基金」へのご寄附もできます。

株主優待 定期預金ご優待券

または

定期預金金利 +0.2%

【カタログ特産品】（右記は2026年度一例）
3,000円相当の特産品は68種類、
6,000円相当の特産品は51種類、
より選択。

または

【株主優待定期預金】
株主優待定期適用金利：店頭表示金利+0.2%
（年利）

保有株式数	いずれかを選択		
	株主優待定期預金		カタログ特産品
	進呈枚数	預入限度額	お選びいただける特産品
100～499株	3枚	300万円	3,000円相当の特産品 または寄附金
500～999株	4枚	400万円	
1,000株以上	5枚	500万円	6,000円相当の特産品 または寄附金

魚の旨みが際立つ、昔ながらの看板商品「阿部の笹かまぼこ」、真鯛香るひとまり大きな贅沢「吟撰選」をはじめ、真っ白な蒸し柿かまぼこの中に濃厚でなめらかなクリームがたっぷり入った「チーズボール」や魚介や野菜など多彩な味わいが楽しめる「笹だより」、「菜ころん」といったバリエーション豊かな阿部蒲鉾店の定番商品が入ったおすすめの詰合せです。

※写真はイメージです。

かまぼこ詰合せ 二段-6

「元祖遠野ジンギスカン」ならではの秘伝のタレと、職人による手切りのラム2種類が楽しめるジンギスカンセットです。6人前の目安となっております。

※写真はイメージです。

じんぎすかんあんべ6人前セット

あわび海宝漬・うに海宝漬・はたて数の子わさび漬が各100g、中央には黄金のうに60gが入った人気商品の詰合せです。解凍後は冷蔵で保存いただき、お早目にお召し上がりください。

※写真はイメージです。

黄金海宝漬

岩手県オリジナルブランド米。白くてつややか、かろやかな食感「銀河のしずく」と「銀河のしずく」ゆずりの粒の白さ、粒感のある食べ応えとさっぱりした味わいの新品種「白銀のひかり(岩手141号)」の詰合せです。

※写真はイメージです。

岩手県産 銀河のしずく・白銀のひかり(岩手141号)詰合せ 4kg

全て岩手県産の三陸の豊かな海で育ったうにを使用しています。塩以外は完全に無添加という昔ながらの製法です。さらに、浸透圧を考慮した独自の配合比で、じっくりと旨味を引き出しました。

※写真はイメージです。

三陸産 甘塩うに 60g 数量限定 100個

自然豊かに恵まれた東北岩手の大地。そこで育まれた美味しさが溢れます。一頭ずつ丹精込めて育てられた前沢牛をご賞味ください。

※写真はイメージです。

前沢牛切り落とし 数量限定 200個

株主優待制度対象：3月31日現在に当行株式100株を1年以上保有の株主様。

詳細はこちらをご覧ください ⇒



株式分割

2026年9月30日を基準に1株につき3株の割合をもって株式分割の実施。

2026年9月30日現在株式数	2026年10月1日現在株式数
1株	3株

配当予想の修正

1株が3株に分割されることに伴い、1株当たりの配当金は1/3となるが、実質的には年間受取額に変更はございません。

配当予想の修正	年間配当金		
	中間	期末	合計
前回予想 (2026年5月13日公表)	96円	96円	192円
今回修正予想 (株式分割前換算)	96円	32円 (96円)	— (192円)
当期実績	—	—	—
前期実績 (2026年3月期)	84円	100円	184円

※年間の配当予想については、株式分割の実施により単純計算が不可能の為非表示

株式分割により、分割割合に応じ、配当予想や株主優待制度の付与条件を変更するものの、分割割合に応じ調整するもので、実質的な条件に変更はございません。

株主優待制度の変更

左記株式分割に伴い株主優待制度の付与条件を一部変更。

【現行条件】 保有株式数	【変更後条件】 保有株式数	いずれかを選択		
		株主優待定期預金		カタログ特産品
		進呈枚数	預入限度額	お選びいただける特産品
100株以上	300株以上	3枚	300万円	3,000円相当の特産品 または寄附金
500株以上	1,500株以上	4枚	400万円	
1,000株以上	3,000株以上	5枚	500万円	6,000円相当の特産品 または寄附金

5. サステナビリティ

ポジティブインパクトファイナンス



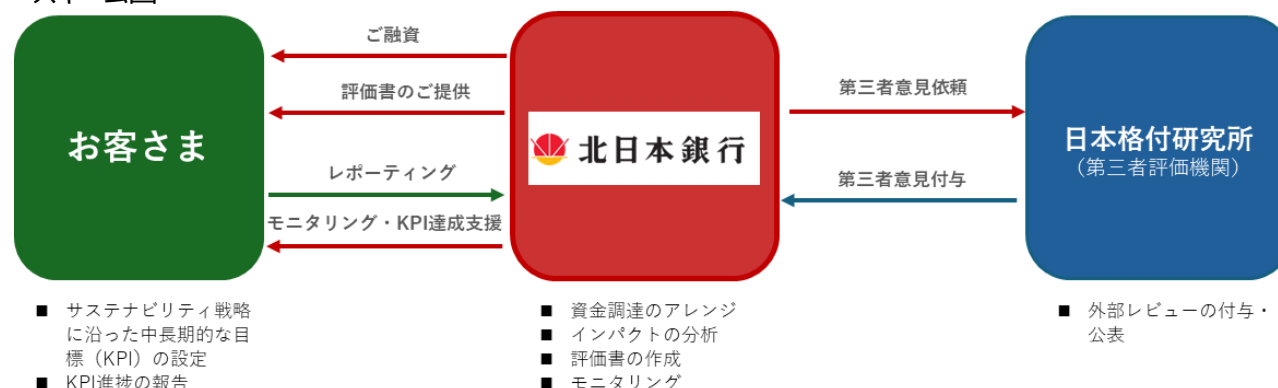
岩手県内初の融資実行

地域企業の持続的な成長と、社会課題の解決を支援する金融手法の一つとして
株式会社近藤設備（岩手県北上市）へポジティブインパクトファイナンス（※）を
融資実行。

当行のポジティブインパクトファイナンスはポジティブインパクト金融原則に
適合した融資商品として、株式会社日本格付研究所より
第三者意見を取得しております。

（※）ポジティブインパクトファイナンスとは
国連環境計画・金融イニシアティブが策定したポジティブ・インパクト金融原則に基づき、お客さまの企業活動
が環境・社会・経済に与える影響を分析し、特定されたプラスの影響の創出・増大とマイナスの影響の緩和・
低減に向けた取り組みを支援する融資

スキーム図



詳細については上記
QRコードより参照ください。

さあ、ユニークバンクへ。
北日本銀行



株式会社近藤設備 企業理念

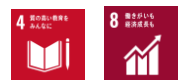
会社と会社に携わる全ての人々の
成長と幸福を追求すると共に、
社業の発展を通じて
社会に貢献する。

<株式会社近藤設備 HP>

ファイナンス概要

ファイナンス概要	
資金使途	運転資金
期間	5年
金額	300百万円

金融教育の実施



未来のお金がわかる金融教育セミナーinいわての開催

2026年3月にキオクシアアイーナにて岩手県内の地銀3行合同による講演を実施。
東北初の地銀連携型、社会人向けの金融教育イベントとなった。
 オンラインも含め約**150**名に参加いただく。

J-FLEC（金融経済教育推進機構）の認定アドバイザーによる講義と、岩手県にゆかりのある著名人による資産形成のパネルディスカッションを実施。

「貯蓄から投資へ」と意識が変化するなかで、地域の金融リテラシーの向上を図っていくために、今後も情報発信を続けていく。



地方学校でのキャリア教育



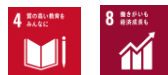
大人に学ぶキャリア講演会～SFD（Select Future Design）

2025年7月に二戸市の中学校にて当行行員による講演を実施。
 働くとは、キャリアとは、について考える機会を創出することを目的として講義を行った。今後も地域に根差した金融機関としてキャリア教育に取り組んでいく。

【演題：将来の自分ってどうつくる？】



ニュービジネスの応援



ニュービジネスコンテストの開催

2021年コロナ禍において事業転換や新たなビジネスプラン、ビジネスモデルを検討している事業者や起業家向けのビジネスコンテストをスタート。

2025年度は第5回ビジネスコンテストを開催。



コンテストテーマ

- 社会課題、地域課題の解決につながる新たなビジネスプラン・ビジネスモデル
- 革新的な新商品・サービス開発、既存のプロセスを革新するビジネスモデル

〈第5回ニュービジネスコンテスト入賞者〉



【起業部門】

最優秀賞

バイオソノ 株式会社 様

〈プラン名〉

ノドの音とAIで「誤嚥」という社会課題を解決するデジタル・ヘルス・プロダクト食通（ショクツー）



【新事業部門】

最優秀賞

株式会社 TONAN 様

〈プラン名〉

美容院に行くのが難しくても諦めさせない。サパットが実装する訪問美容とQOL向上モデル



【学生部門】

最優秀賞

高橋 湖梅 様（大船渡高等学校）

〈プラン名〉

ワイングラスを進化させた beautiful glassを貴方に！

株主との対話の取組み



情報開示の充実

株主の皆さまとの建設的対話を促進するため、アナリストや投資家、当行営業エリア内の株主・お客さま向けに頭取がIRを実施。
今後も株主・投資家と積極的に説明、対話を行っていく。

【2025年度の実施状況】

対象者	回数
アナリスト・機関投資家向けIR（対面）	1回
機関投資家との対話（対面）	7回
個人投資家向けIR（Web）	1回
当行営業エリアにおける地区別経営説明会（対面）	8会場
のべ参加人数	5,081人

株主の皆さまやお客さまから頂戴した、ご意見・ご感想につきましては、今後の資本政策・株主還元策の検討に活用させていただきます。

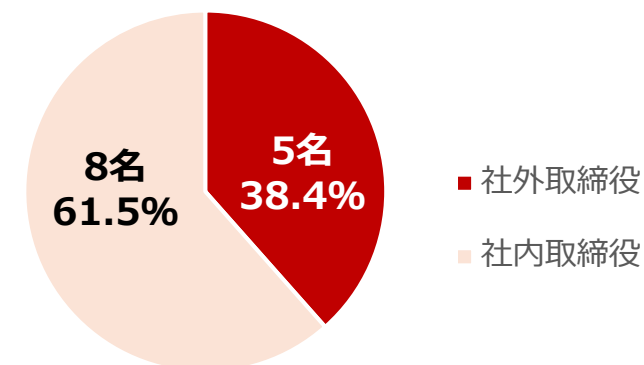
コーポレート・ガバナンス体制



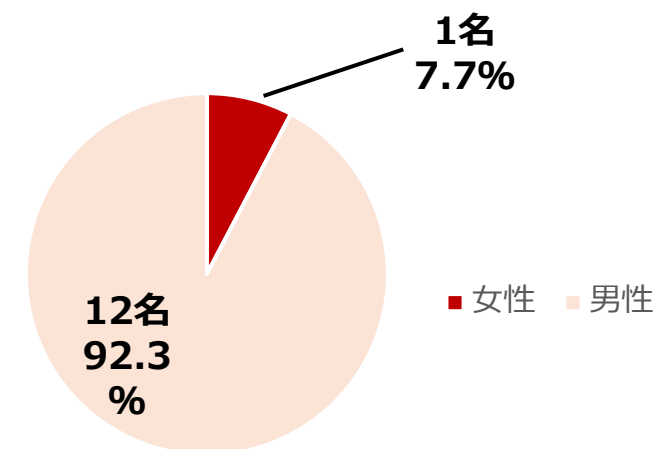
取締役会機能の向上

取締役会メンバーの多様性を推進。

【社外取締役比率】



【女性取締役比率】



1. 2026年3月期において、2期ぶりの増収増益を達成し、経常利益および当期純利益は、単体・連結ともに過去最高となりました。
2. 中期経営計画の最終年度として、数値目標の達成に向けて邁進してまいります。
3. 私たちは、豊かな人間力と創造的開発力で、未来をデザインする“ユニークバンク”を目指してまいります。

6. 各種計数

損益計算書（単体）

Unique Bank

（単位：百万円）

	2021年度		2022年度		2023年度		2024年度		2025年度	
	第二四半期		第二四半期		第二四半期		第二四半期		第二四半期	
経常収益	9,921	19,985	10,033	20,006	12,173	24,423	11,335	23,069	13,069	26,925
コア業務粗利益	7,971	16,312	8,034	16,321	8,394	17,169	8,659	17,423	9,256	19,472
うち資金利益	8,012	16,062	8,104	16,042	8,570	17,058	8,842	17,438	9,464	19,423
うち貸出金利息	5,955	12,056	6,090	12,260	6,164	12,484	6,414	13,245	7,582	15,702
うち有価証券利息配当金	1,985	3,713	1,904	3,593	2,338	4,446	2,506	4,774	2,898	6,089
うち役務取引等利益	△ 56	163	△ 110	236	△ 188	92	△ 183	△ 11	△ 212	23
経費（△）	5,845	11,789	5,855	11,761	6,493	12,719	6,303	12,721	6,653	13,274
コア業務純益	2,126	4,523	2,178	4,559	1,901	4,449	2,355	4,701	2,602	6,197
一般貸倒引当金繰入額（△）	277	1,110	—	982	196	249	281	—	—	△ 271
業務純益	1,842	2,542	2,032	2,922	△ 228	1,372	1,997	4,319	2,496	6,059
うち国債等債券損益	△ 6	△ 870	△ 146	△ 654	△ 1,932	△ 2,828	△ 77	△ 382	△ 106	△ 410
臨時損益	187	260	320	375	1,724	2,588	907	980	519	38
うち不良債権処理額（△）	△ 47	37	4	△ 15	470	1,171	△ 73	730	—	1,156
うち貸倒引当金戻入益	—	—	93	—	—	—	—	374	22	—
うち償却債権取立益	16	42	15	50	16	37	146	153	42	73
うち株式等関係損益	22	△ 119	29	△ 36	1,871	2,772	419	691	319	819
経常利益	2,030	2,802	2,352	3,298	1,496	3,960	2,904	5,300	3,015	6,098
特別損益	△ 26	△ 159	△ 22	△ 53	△ 164	△ 199	△ 56	△ 253	△ 47	△ 125
税引前当期(中間)純利益	2,003	2,642	2,330	3,244	1,331	3,760	2,848	5,046	2,968	5,972
法人税等（△）	529	412	650	668	380	744	605	1,201	880	1,735
当期(中間)純利益	1,474	2,229	1,679	2,576	951	3,016	2,242	3,844	2,087	4,237

（単位：億円）

	2021年度		2022年度		2023年度		2024年度		2025年度	
	第二四半期		第二四半期		第二四半期		第二四半期		第二四半期	
預金総額(譲渡性預金含む)	14,290	14,015	14,317	14,045	14,238	14,235	14,486	14,227	14,308	14,474
預金	14,260	13,985	14,287	14,015	14,208	14,205	14,456	14,220	14,278	14,433
個人預金	10,156	10,200	10,255	10,238	10,231	10,199	10,179	10,194	10,157	10,254
法人預金	3,672	3,557	3,611	3,535	3,590	3,641	3,629	3,703	3,707	3,839
公金・金融機関	431	227	420	241	387	364	647	322	413	339
譲渡性預金	30	30	30	30	30	30	30	7	30	41

「地域別預金残高」

（単位：億円）

岩手県	11,106	10,950	11,167	10,980	11,134	11,142	11,337	11,044	11,178	11,130
青森県	469	454	454	443	460	451	449	453	447	458
秋田県	218	209	215	203	207	201	203	206	205	204
宮城県	1,903	1,820	1,894	1,850	1,855	1,856	1,929	1,935	1,871	1,899
福島県	245	236	242	235	248	243	231	235	226	234
東京都	316	313	311	302	302	309	306	345	347	505

「預金先数」

（単位：先）

預金全体	260,894	257,321	255,655	252,370	250,467	247,187	246,441	244,447	243,533	240,232
法人・個人事業主	26,142	25,816	25,594	25,123	24,923	24,421	24,310	23,956	23,779	23,295
個人	231,640	228,468	227,021	224,262	222,550	219,847	219,215	217,651	216,921	214,175
その他	3,112	3,037	3,040	2,985	2,994	2,919	2,916	2,840	2,833	2,762

（単位：億円）

	2021年度		2022年度		2023年度		2024年度		2025年度	
	第二四半期		第二四半期		第二四半期		第二四半期		第二四半期	
貸出金総額	9,779	10,069	10,232	10,414	10,655	10,852	10,938	11,094	11,110	11,234
事業性貸出金	4,948	4,998	4,928	4,993	5,078	5,165	5,141	5,198	5,169	5,270
個人ローン	4,070	4,365	4,592	4,775	4,944	5,042	5,159	5,238	5,276	5,320
住宅ローン	3,782	4,081	4,310	4,492	4,662	4,759	4,881	4,961	5,004	5,051
その他ローン	287	283	282	282	282	282	278	276	272	269
地公体貸出	761	706	711	644	632	644	637	657	664	644

「地域別貸出残高」

（単位：億円）

岩手県	6,349	6,438	6,427	6,465	6,524	6,600	6,581	6,645	6,596	6,663
青森県	471	486	481	493	511	514	511	526	519	527
秋田県	176	204	232	252	268	278	293	304	307	317
宮城県	2,127	2,294	2,444	2,558	2,698	2,768	2,877	2,909	2,972	2,991
福島県	200	206	218	239	246	257	263	272	271	279
東京都	453	439	427	404	405	433	411	437	442	456

「貸出先数」

（単位：先）

貸出金全体	66,325	66,296	66,337	65,876	65,793	65,174	64,735	64,272	63,670	63,062
大企業・中堅企業	205	206	213	205	208	219	219	223	223	227
中小企業	6,058	6,123	6,032	6,063	5,904	5,989	6,139	6,252	6,144	6,258
個人	60,062	59,967	60,092	59,608	59,681	58,966	58,377	57,797	57,303	56,577

本資料には将来の業績に関する記述が含まれております。
本資料に記載された事項の全部又は一部は予告なく修正又は変更されることがあります。
こうした記述は将来の業績を保証するものではなく、リスクや不確実性を内包するものです。将来の業績は、経営環境の変化などにより、計画対比異なる可能性があることにご留意ください。

【問合せ先】

北日本銀行 経営企画部

TEL 019-653-1111

FAX 019-651-1951

[URL:https://www.kitagin.co.jp/inquiry/](https://www.kitagin.co.jp/inquiry/)

本件資料に関するご意見・お問合せは、上記URL(お問合せフォーム)にてお受付致します。